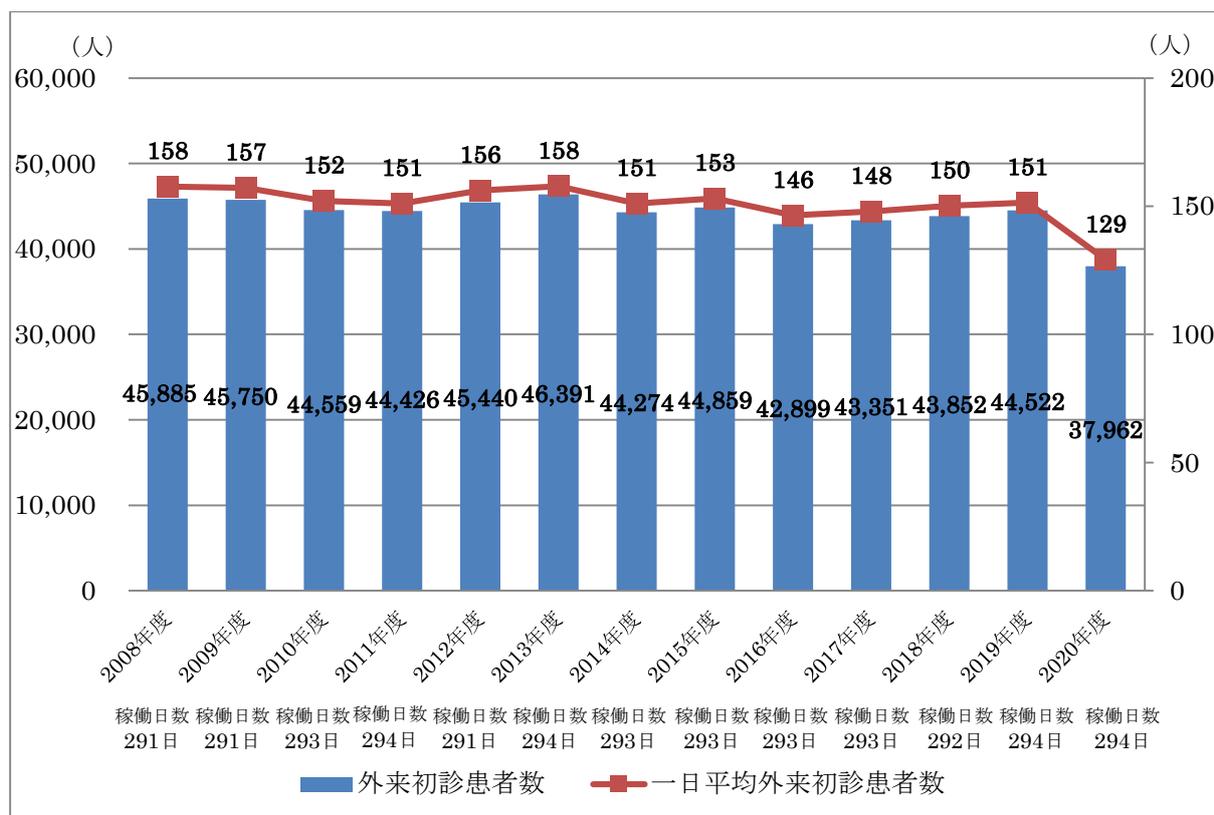


2.3. 外来初診患者数



2020年度の初診患者数は、前年度と比較し大幅に減少した結果となった。一番の要因としては、新型コロナウイルスの感染拡大による受診控えが挙げられるが、厚労省が示す「病病連携・病診連携・病介連携」について、大病院の外来は紹介患者を中心とし、かかりつけ医機能を有する医療機関では一般的な外来受診に対応するという、外来の機能分化の推進として、近隣医療機関からのご支援により、切れ目のない医療連携体制が維持できた結果とも考える。

今後も、必要に応じた介護サービスと連携・協働と継続的な医療機能の分化・強化、連携を進める。

データ提供 医療事務室外来医事課